

事務事業名		後期高齢者人間ドック事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	長寿医療係	担当課長名	片柳 利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 後期高齢者医療制度の円滑な運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7151	一般	4	1	2	後期高齢者人間ドック事業					
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成23年度～ 年度	根拠法令 条例等	佐野市後期高齢者医療人間ドック等実施要綱				
							市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		健診・予防事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
○ 後期高齢者人間ドック事業は、市が主体となり、国の交付金を活用した後期高齢者医療広域連合からの経費助成を受け実施している。 ○ 事業を実施する医療機関は、医療法人財団青葉会 佐野市民病院、一般社団法人 佐野市医師会附属佐野医師会病院			○ 後期高齢者医療被保険者を対象に、後期高齢者人間ドックの補助事業を実施した。 ○ 通信運搬費8千円、負担金4,673千円の合計4,680千円である。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
人間ドック受診者			人	110	110	125				
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
○ 後期高齢者医療被保険者(市民)を対象としている。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			後期高齢者医療被保険者(4/1)	人	16,160	16,276	16,359			
			受診対象被保険者	人	15,643	15,759	15,800			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
○ 後期高齢者医療被保険者(市民)の疾病予防、早期発見を図ることを目指している。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			要受診・要精密検査勧奨者	人	99	103	115			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
○ 75歳以上の高齢者が健康づくりと疾病予防ができるとともに、安心して医療を受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4	99.4	99.4	
			後期高齢者健康診査受診率	%	15.7	16.5	16.0	17.0	18.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	4,416	4,671	5,244					
	一般財源	千円		9						
	事業費計(A)	千円	4,416	4,680	5,244	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			通信運搬費	8	通信運搬費	8	消耗品費	3		
			負担金	4,409	負担金	4,673	通信運搬費	17		
						負担金	5,224			
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	300	300	300						
人件費計(B)	千円	1,167	1,182	1,182	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,583	5,862	6,426	0	0				

事務事業名	後期高齢者人間ドック事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	長寿医療係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	○ 後期高齢者人間ドック事業は、国の交付金を活用した広域連合からの経費助成を受けている事務事業であり、後期高齢者医療制度開始に遅れること3年、23年度より事業を開始し、国民健康保険人間ドックと緊密な連携を図りながら事業を推進しているものである。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	○ 平成23年度から開始され、例年受診者があり、制度については周知されてきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	○ 制度開始当初、現行の医療機関に加えて、堀米町にある病院でも受診できないものなのかとのご質問を頂いたことがある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	○ 後期高齢者が安心して医療を受け暮らせることは、本市政策体系に合致しているものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	○ 佐野市後期高齢者医療人間ドック等実施要綱に則した事務事業であり、市で行うことが妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 佐野市後期高齢者医療人間ドック等実施要綱から、勘案しても妥当なものである。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	○ 受診者が増えることは、健康寿命の延長、医療費抑制にも効果があるので、医療機関と連携し、制度の普及を継続し続ける必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	○ 国民健康保険特別会計の人間ドック事業費
	類似事務事業があり統合・連携できる・している *類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案	○ 被保険者が加入する健康保険(年齢層)が異なるだけで、実施方法等類似している。そこで、年度当初の受付事務を合同で開催、更に医師会等にも共同で相談を行い、事務の効率化を進めているところである。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	○ ドック費用自体の単価の引き下げを行わない限り、事業費の削減はできないものである。人件費も最低の1人に対応しているものであり、現状では、削減の余地がないものである。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	○ 国民健康保険と同様、受診費用の2/3を助成しており、先々の医療費増大の抑止効果等勘案すると負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)		
○ 国、広域連合条例、市要綱にも定めがあり、これらを廃止、改正しない限り、事業を終了することはできないものである。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			